

のカセット・テープの収集等にも努めた。

(4) 児童図書研究図書の収集

児童及び児童図書を研究する利用者のために、児童書では利用度が高く出版点数も多い絵本及び近年特に要求が高く蔵書が少ない自然科学部門に重点を置き収集し、研究資料としては児童文学と絵本についての作家論、作品論を中心に収集した。復刻書、雑誌も昨年に引き続き収集した。

(5) 逐次刊行物の収集と整備

利用者の多様な要望に対応すべく、各分野の定評ある雑誌を収集し、特に今年度も近代文学関係雑誌の復刻版を整備して、資料の充実を図った。

新聞については、地元紙、中央紙等の収集保存に努め、地元紙は、汚・破損防止のため、マイクロフィルム化を行った。また、非所蔵の朝日新聞大正期の復刻版収集に着手した。

〔表1〕平成2年度逐次刊行物受入整理状況

(単位:種)

区分	購入	寄贈	計
新聞	16	60	76
雑誌	210	806	1,016
特許公報類	-	8	8
官報等	4	-	4
計	230	874	1,104

〔表2〕平成2年度資料の受入状況

(単位:冊)

区分	購入	寄贈・他	計
一般図書	7,404	1,865	9,269
郷土・行政資料	719	2,868	3,587
児童図書	750	344	1,094
児童図書研究室資料	561	101	662
館外用図書	4,094	1,794	5,888
計	13,528	6,972	20,500

2 蔵書目録の刊行

図書館間および類縁機関との相互協力には不可欠な、冊子体蔵書目録を刊行し、県内・外の関係機関、施設に配布した。

この目録は、昭和63年度に収集した一般図書資料約8,500冊を収録した増加図書目録であり、当館の冊子体蔵書目録としては第41集目にあたる。

また、弁護士・故堀切真一郎氏寄贈の「堀切文庫」を前年度より公開していたが、本年度はその冊子体目録を刊行して各方面に配布したので飛躍的利用増が期待される。

第3節 館内奉仕

1 調査相談

「福島県立図書館調査相談業務規程」にその範囲を定め、図書館資料の検索、参考文献の紹介、専門機関等についての情報提供など、利用についての協力援助を行った。

これは、来館した利用者からの依頼と、電話、文書による依頼を受け、各主題によって、郷土、社会、人文、自然、逐次刊行物、児童の各カウンターの担当者が調査し、回答するものである。

本年度の調査相談件数は、次のとおりである。

〔表3〕記録された参考質問の分析

(単位:件)

区分	郷土資料	一般			逐次刊行物	小計	児童	合計
		人文	社会	自然				
口頭	1,423	610	976	830	836	4,675	635	5,310
電話	1,076	458	220	85	370	2,209	107	2,316
文書	123	14	10	1	18	166	0	166
計	2,622	1,082	1,206	916	1,224	7,050	742	7,792
		3,204						

2 館内閲覧

郷土資料、一般資料、参考図書、新聞、雑誌、特許公報類など、約10万冊を公開し、利用に供した。

また、利用の便を図るため、次の閲覧目録を備えている。

- ・カード目録……書名、著者名、分類
- ・冊子目録……主題別、郷土、特殊文庫、増加図書
(館内閲覧は自由閲覧制のため利用統計はない)

3 館外個人貸出し

一度の来館で、4冊、2週間借り受けて、自宅等でゆっくり調査研究や読書ができるこの制度は、多くの利用者から好評を得ている。

本年度の貸出状況は、次のとおりである。

〔表4〕館外個人貸出利用者数

区分	人数	構成比(%)	区分	人数	構成比(%)
勤め人	8,385	40.1	学生・徒	6,770	32.4
自家営業	918	4.4	小計	20,902	100.0
主婦	2,438	11.7	児童	22,805	-
無職	2,391	11.4	合計	43,707	-